

平成30年5月8日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 あいの郷
 氏名 野本 貴之

研修会報告書

研修会名	「今、体痛くありませんか？」～腰痛予防を中心とした、様々な介助方法を知る～				
日時	平成30年5月3日(木) 10:00～16:00				
会場	埼玉福祉・保育専門学校 301・302教室				
講師	いづみケアセンター 理学療法士 戸坂 心 氏				
参加人数	23人				
研修委員 (氏名・施設名)	村田 裕一 いづみケアセンター 野本 貴之 あいの郷 伊東 伸晃 みぬま 増田 裕介 しょうわ				
研修会のテーマ	双方の身体に負担をかけない介助の仕方を理学療法士から学び、介助負担を減らしていく				
研修会の評価	アンケート回収枚数	21 枚	3. グループワーク	4.2 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4.1 / 5	4. 研修会の進め方	4.3 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	21 / 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	<p>今回の研修を開催するにあたり、当初は40名参加できるように会場を借りたが、世間はゴールデンウィークということもあり、参加人数は23名と、想定していた数字を大きく下回ってしまった。研修の開催時期を見誤ってしまったことが課題として挙げた。</p> <p>研修の内容に関しては、参加者からは想定していた内容とほぼ一致したという意見が多く、説明がわかりやすく普段の業務に活かせる内容だったという声が多く聞かれた。腰痛のメカニズムや基本的な介助方法を知ることで、経験年数の浅い介護職員にとっては業務に取り入れやすく、ベテランの介護職員にとっては基本を振り返り日頃の自分のケアを見つめなおす良い機会になったのではないかと考えている。介護職員と腰痛は、切っても切り離せない関係にあり、人手不足が改善されない介護現場にとって、自分で自分の身体を守ることプロの介護職員に求められる要素であり、長く仕事を続けられることは施設にとっても重宝されることを学んでいただけのことと思う。</p> <p>今回の研修で学んだことを各自が自施設に持ち帰り、施設内で情報を共有して腰痛予防に取り組む施設が少しでもあれば、今回の研修を開催して本当に良かったと思える。そのためには、まずは研修委員が率先して取り組むべきだと考えている。研修委員としての自覚も持ち、これからも利用者、施設のためになるよう、力を注いでいきたい。</p>				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。